

みさと 市議会だより



No. 187

2021年11月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の
意思決定機関
への関与



おいもがたくさんとれました
(早稲田保育所)

主な内容 令和3年9月定例会

- ・ 論点1「(仮称)三郷市多世代交流複合施設の新築工事が始まります」、
論点2「小規模事業者を支援します」 2
- ・ 令和2年度決算の審査概要 4
- ・ 市政に対する一般質問 6
- ・ 9月定例会提出議案とその結果 14
- ・ 国・政府に要望 15
- ・ 読者の声 16

論点
1

9月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

(仮称)三郷市多世代交流複合施設の新築工事が始まります



完成イメージ図 ※実施段階での調整により、変更になる可能性があります。

9月定例会
8/30~9/17

9月定例会には、市長から20議案が提出され、原案通り可決しました。

議案第47号 工事請負契約の締結について

〈内容〉北公民館・北児童館・たちばな保育所の跡地を利用して(仮称)三郷市多世代交流複合施設新築工事(建築)に伴う契約を締結するものです。
※金額が大きい契約を結ぶ場合は、議会の議決が必要です。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 落札業者の実績は。
答 過去の主な受注工事実績としては、三郷市立幸房小学

校プール新築工事、三郷市立幸房小学校増築工事、三郷市斎場新館新築工事などがある。

問 パブリックコメントの意見ではどのようなものがあったのか。

答 令和元年8月から9月にかけてパブリックコメントを実施し、主に障がい者対応などに関する意見をいただいた。障がい者用駐車場の配置、多目的トイレにユニバーサルシート、ストレッチャー対応のエレベーター等を設置することになっている。

委員会の討論では、「新たな施設には温浴室があり、多くの高齢者の要望に応えたもので賛成ではあるが、市民の学習権を保障する公民館機能の充実を求める」などがありました。

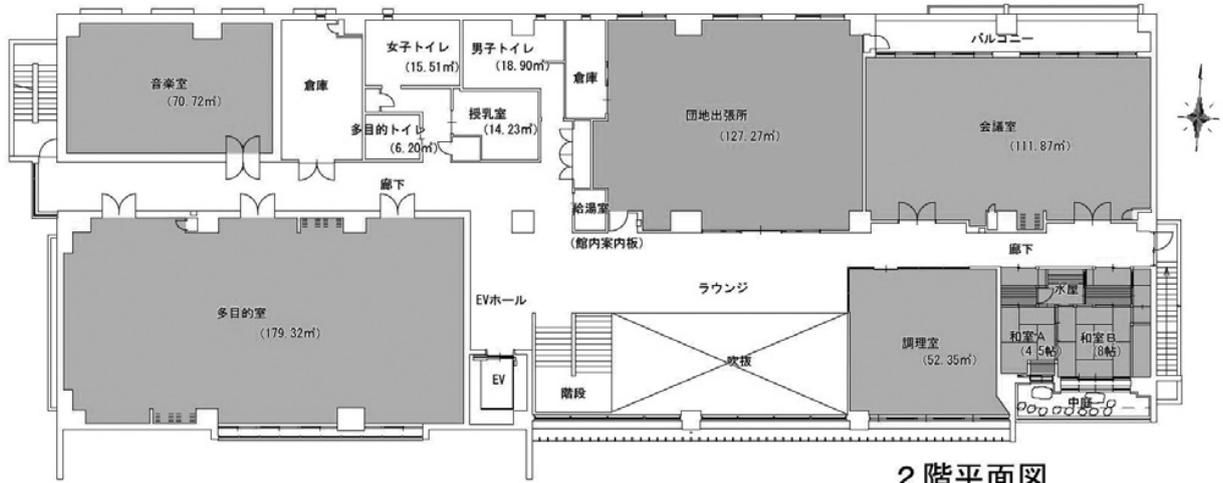
最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告しました。続いて討論・採決の結果、全議員賛成で可決しました。

(仮称)三郷市多世代交流複合施設新築工事概要

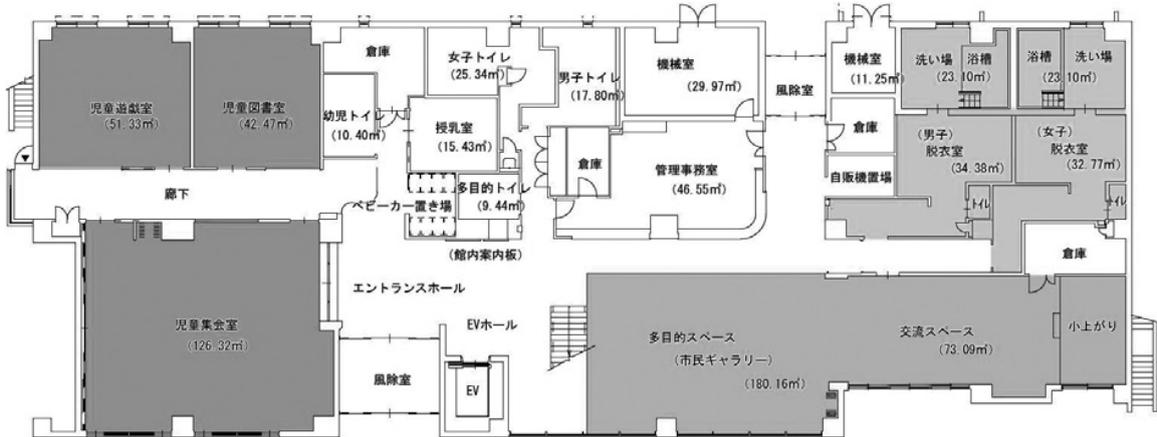
工事場所	三郷市彦成三丁目7番地19
敷地面積	1,844.71㎡
延べ面積	1,943.44㎡ ※複合施設、防災備蓄倉庫含む
履行期限	令和5年1月31日
契約金額	9億2,180万円
受注者	不動開発株式会社 三郷営業所
用途	複合施設：交流・多目的スペース、児童館、温浴室、団地出張所、会議室等 防災備蓄倉庫：倉庫



(仮称)三郷市多世代交流複合施設建設予定地



(仮称)三郷市多世代交流複合施設新築工事(建築)各階平面図



論点 2 小規模事業者を支援します

議案第66号 令和3年度三郷市一般会計補正予算(第5号)
 〈小規模事業者支援金事業〉

〈内容〉国から追加交付される地方創生臨時交付金の特別枠「事業者支援分」を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した小規模事業者に支援金を給付(1事業者当たり5万円)。

▽本会議では次のような質疑がありました。
問 対象事業者の詳細は。
答 対象は、市内に主たる事業所を有し、中小企業基本法に規定する常時雇用する従業員数が卸売業、小売業、サービス業は5人以下、製造業その他については20人以下の小規模事業者である。飲食サービス業など、対象外としている業種もある。

問 申請方法及び基準は。
答 原則、郵送による申請だ

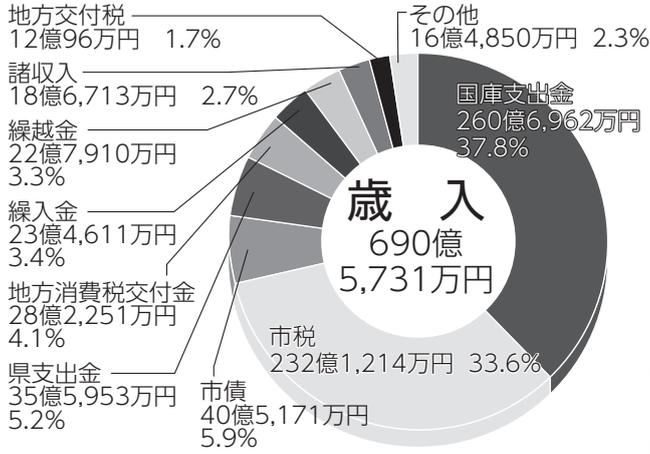
出張受付を行います
 支援金の相談、受付を行います。(予約不要)
 11/27(土) コミュニティセンター(1階 ホール)
 11/28(日) 三郷市文化会館(2階 中会議室)
 受付時間: 9:30~11:30・13:30~16:30
<https://www.city.misato.lg.jp/10435.htm>

市内出張受付も行う

が、担当窓口のほか三郷市商工会でも対応する。主な基準は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年4月から12月までのいずれかの月で、前年または前々年の同月比で売上げが20%以上減少しているかどうかである。

問 予算上限に達した場合は。
答 申請期間内の申請事業者には全て支給できると見込んでいたが、申請件数が見込みを上回る場合には、担当部局と調整し適切に対応していく。

最終結論を出す本会議では、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



歳入区分	説明
国庫支出金	特定の事業に対して国から交付されるお金
市税	市民税、固定資産税など
市債	市が長期にわたって借りるお金
県支出金	特定の事業に対して県から交付されるお金
地方消費税交付金	県の地方消費税収入の中から交付されるお金
繰入金	基金などから繰り入れるお金
繰越金	前年度一般会計から繰り越されるお金
地方交付税	財政状況に応じて国から交付されるお金

令和2年度決算を認定 税金の使い方を確認しました



都市型ヘルスツーリズム江戸川河川敷でのボート体験

議案第57号「令和2年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について」では、決算額は歳入690億5,731万円(前年度比34.6%増)、歳出655億6,475万円(前年度比33.8%増)となりました。本会議での上程説明及び質疑、各常任委員会での審査の要旨をお伝えします。

令和2年度の 主な事業

- ☆新型コロナウイルスワクチン接種事業
- ☆三郷市医療機関・福祉事業所等緊急支援事業
- ☆大場川下流排水機場ポンプ増強事業
- ☆地域拠点基盤整備(フルインター化)事業
- ☆地域防災推進事業
- ☆子育て支援事業(子育て支援ステーションの充実等)
- ☆「日本一の読書のまち」推進事業
- ☆ホストタウン推進事業
- ☆小学校空調設備整備事業

業務の効率化に向け RPAの導入検証を実施

《総務常任委員会》

地方創生推進事業(都市型ヘルスツーリズム推進)では、三郷の香りの制作や、江戸川河川敷でのプログラム検証などを行った。今後は、コロナ禍においても実施できる事業を整理していく。

業務改革推進事業では、RPA(ソフトウェア型ロボット)による業務プロセス自動化)の導入に向け、3事業について実証実験を行った。今年度から本格導入をはじめ、業務時間の削減を進めたい。自主防災組織の活動について、例年であれば訓練指導者養成講座や防災リーダーの研修、県外への視察などを行っているが、令和2年度はコロナ禍のため、すべて中止とした。現在は、三郷市自主防災組織連絡協議会のホームページ

ジなども活用し、コロナ禍での活動について情報共有を図っているとのことでした。

討論として、「自然災害や感染症に対応できる人材の確保は、自治体の重要課題である。職員の3割が有期雇用となっていることは問題であり反対する」などがありました。

シルバー元気塾を1コース増設

《市民福祉常任委員会》

シルバー元気塾推進事業では、みさと団地中央集会所に1コース増設し、定員数36名のところ30名が登録され、8回開催で延べ92名が参加した。社会保障生計調査事業では、埼玉県内の生活保護の級地ごとに市町村が選定され、令和元年度、2年度は2級地を代表して三郷市が選定された。被保護世帯のかたに家計簿調査をし、国が生活保護基準改定などの参考にする目的

新特産品等産出事業について、アスパラガス・メロン・秋どり枝豆の3つを重点的に新特産品として売り出している。栽培農家も令和2年度から増えている。特にアスパラガスは好評であることから、



新特産品として好評のアスパラガス

アスパラガス・メロン・秋どり枝豆を売り出し中

《文教経済常任委員会》

討論として、「子ども医療費支給事業では、対象年齢を早期に18歳まで拡充することを要望するため反対する」などがありました。

「子どもの居場所」づくり推進事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる費用を補助した。三郷市「子どもの居場所」緊急対策事業補助金は、1団体30万円を上限として、申請があった7か所の運営団体にそれぞれ支給したとのことでした。

令和2年度 特別会計決算

5つの特別会計決算は、各常任委員会で審査し、本会議において認定しました。



国民健康保険

歳入 139億8,905万円
歳出 137億 273万円

審査では、生活習慣病重症化予防対策事業は埼玉県と共同で実施している事業である。糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、国民健康保険の被保険者の中から重症化のリスクが高いかたを分析・抽出して、文書による受診勧奨や保健指導等を行う事業であるとのことでした。

討論として、「コロナ禍において保険料の支払いに困難を抱えるかたも多く、市民への支援を求めることから反対」などがありました。



介護保険

歳入 102億2,742万円
歳出 95億1,796万円

審査では、成年後見制度利用支援事業の利用数は、成年後見人への報酬15件分と、申し立てに要する経費9件分である。費用は市長申し立てにより付けた成年後見人への支払いが主なものであるとのことでした。

討論として、「介護保険料の負担軽減が不十分であり、低所得でも心配なく施設利用や入所ができる体制づくりを求めることから反対」などがありました。



後期高齢者医療

歳入 16億4,535万円
歳出 15億5,490万円

審査では、埼玉県後期高齢者医療広域連合の保険給付費支払基金残高は、令和元年度期末で約162億円であるとのことでした。

討論として、「保険料均等割の軽減措置の上乗せとして実施してきた軽減特例が見直され、軽減対象者が減少し、わずかな年金で暮らす高齢者にとって深刻な問題となっていることから反対」などがありました。



上水道事業

※ 歳入 29億8,727万円
歳出 33億7,888万円

審査では、突発的漏水が発生した際には、三郷市指定管工事業協同組合と契約して24時間対応できるようにしている。道路上の修理のほか、宅地内であっても、メーター側から道路の間の給水管の漏水などは市で対応しているとのことでした。

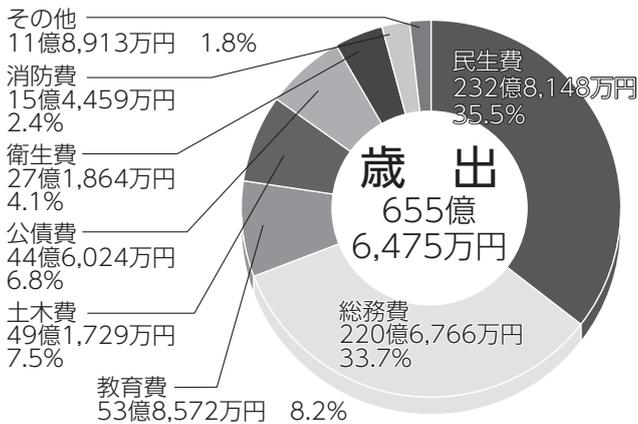


公共下水道事業

※ 歳入 52億7,187万円
歳出 60億6,115万円

審査では、公営企業会計では、下水道管渠のほかに建物(早稲田中継ポンプ場)、構築物(マンホールなど)、機械や備品といったものが資産として減価償却できるとのことでした。

※上下水道事業の決算額は収益的収支と資本的収支の合計額です。



歳出区分	説明
民生費	子ども、高齢者、障がい者などの福祉事業費など
総務費	防災や防犯、マイナンバーカードの交付、市税の課税徴収など
教育費	学校教育費、「日本一の読書のまち」推進事業など
土木費	道路や河川、公園整備など
公債費	市債の返済金
衛生費	ゴミの収集や予防接種など
消防費	消火・救急活動など
その他	議会費、商工費、農林水産業費など

今後強化していきたい。
小・中学校教育用パソコン整備事業について、今後も新型コロナウイルス感染症により、学年閉鎖なども考えられることから、各学校の実態に合わせてリモート授業等を行う予定であり、昨年度購入したタブレットパソコンを有効活用していきたいとのことでした。
討論として、「住宅リフォーム補助金の拡充、学校給食費の負担軽減など、積極的な市独自の施策が見受けられなかったことから反対する」などがありました。

空家対策を推進

《建設水道常任委員会》

住宅施策推進事業では、空家等対策計画により空家対策を進めているが、令和4年度より計画の見直し作業に着手する予定である。現在取り組んでいる空家の実態把握調査結果を活用し、今後の空家等対策計画における施策の充実を図っていく。
耐震診断・耐震改修等費用助成事業では、現在はコロナウイルス感染拡大防止のため

個別訪問ができないが、今後対象となるかたに対して職員による再度の訪問を実施し、助成事業を活用した耐震化への働きかけを行っていく。
下第二大場川改修事業は、平成5年に下流側(寄巻付近)から改修を始めており、令和2年度は、松戸草加線の新鎌倉橋の南側29メートルを整備した。今後は、概ね5年をかけて、新鎌倉橋から約160メートル上流側の二郷半用水路と合流するまでの区間について、改修工事を進めていく予定であるとのことでした。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

篠田 隆彦	宇治由紀子	寺沢 美紗	渡邊 雅人
加藤 英泉	齊藤 幹郎	田上 広子	西村寿美枝
深川 智加	佐々木 修	柳瀬 勝彦	一色 雄生
鳴海 和	佐藤 智仁	工藤智加子	菊名 裕

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり16人の議員が活発な論戦を展開しました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

健康を守るため、総力を挙げて感染防止・医療提供・公衆衛生対策に迅速に取り組み、あわせて社会経済活動との両立を図ることが肝要である。そこで、現在の感染・接種状況や陽性者とその家族に対する対応を伺う。

市長 月別の新規陽性者数は8月に過去最多の791人となり、9月は13日までに289人である。こうした中、防災行政無線をはじめ、ホームページ、メール配信サ



自宅療養者に配食するレトルト食品

「新型コロナウイルス感染症第5波」について

ビス、市内各所の掲示板、啓発チラシの全戸配布などにより、市民の皆様にもさらなる感染防止対策の徹底を呼びかけている。また、自宅療養中で食料の調達が困難なかと同居のご家族には、食料品の宅配をしている。

スポーツ健康部長 令和3年9月

13日時点で、12歳以上の対象者全体で接種率は44.3%である。また、65歳以上は、88.7%のかたが2回の接種を完了している。今後、地域での医療機関と連携し適切に実施していく。

SDGsの視点からみさを発電するまちへ

議員 日本のエネルギー自給率は約1割程度であり、持続可能な発展を目標(SDGs)とするためには、海外依存からの脱却が最重要課題である。近年の技術進歩で、水力を活用した小規模発電が誕生しており、三郷市の環境でも生かせるのではないか。新しい技術により市内で発電ができれば、収益をもたららし、自立するまち、災害に強いまちの実現にもつながる。電気



太陽光発電設備 (ワークセンターしいの木)

ともに、具体的な施策として進めてほしいが、市のまちづくり計画においてSDGsを視点とした環境施策について伺う。

企画政策部長 本市でも、今年度

スタートした「第5次三郷市総合計画」において、施策体系とSDGsの17の目標との関連づけを行っている。この総合計画の方針で「誰もが自然を身近に感じられる環境をつくるとともに、地球環境にも配慮した豊かな暮らしの実現を目指す」ことを施策の大綱として掲げている。具体的な取り組みとして、太陽光発電システムや省エネルギー設備の設置に対する補助金の交付などがある。今後も持続可能な社会の実現を目指し、環境にやさしいまちづくりを推進していく。

その他の質問 新型コロナウイルス感染症対策。

ひとり親の 就労支援について

議員 離婚や死別の混乱期に、これからひとり親として生きていくためにどのような準備をすればいいのか、どのような仕事が自分にとって適正で、その仕事に就くためにはどのような資格や訓練が必要なのか。このようなことを相談できる窓口が市役所であれば生活の不安や心配が解消され、ひとり親家庭が抱える負担が軽減されると思う。三郷市の取り組みとして、ひとり親家庭への就労支援の現状について伺う。

子ども未来部長 ひとり親家庭は就労状況や養育費、住まいなどの経済的な状況、生活面、子育て環境などが異なり、自立した生活に向け、各家庭に応じた支援が必要である。本市でのひとり親の経済的自立の



ここにこ子育て応援ガイド

ための就労支援として、看護師や介護福祉士、保育士、歯科衛生士などの資格を取得する際の生活費を支給する高等職業訓練促進給付金支援制度のほか、自立支援教育訓練給付金制度もある。市ホームページや「ここにこ子育て応援ガイド」でも紹介しているが、相談先の周知も含め、個々の状況に応じた支援をしている。

新型コロナウイルスワクチン 接種事業について

議員 希望する全てのかたが1日でも早く新型コロナウイルスワクチンの接種を受けられるよう、この事業の運用については、更なる改善が必要である。①重症化リスクが高い妊婦や新生児を感染から守るため、現行の優先接種対象である「妊婦及び同居中の配偶者(事実婚含む)」に加えて、「妊婦の同居家族」「授乳中のかた及びその同居家族」を加えること、②ワクチン廃棄事案を起こさないための厳格な保管体制の構築、③HPV、ツイッター、メール配信サービスにおけるワクチン関連情報の一元化、統一的かつ分かりやすい情報発信の徹底を求める。

議員 希望する全てのかたが1日でも早く新型コロナウイルスワクチンの接種を受けられるよう、この事業の運用については、更なる改善が必要である。①重症化リスクが高い妊婦や新生児を感染から守るため、現行の優先接種対象である「妊婦及び同居中の配偶者(事実婚含む)」に加えて、「妊婦の同居家族」「授乳中のかた及びその同居家族」を加えること、②ワクチン廃棄事案を起こさないための厳格な保管体制の構築、③HPV、ツイッター、メール配信サービスにおけるワクチン関連情報の一元化、統一的かつ分かりやすい情報発信の徹底を求める。

スポーツ健康部長

①現在、12歳以上のすべてのかたに対象を拡充して予約受付を開始したところである。更なる優先接種枠の拡大の必要性については、今後の接種の進捗状況も踏まえて調整していく。②部外者の侵入及び、人為的ミスなどを防止するため、管理を徹底するとともに、停電時に備え災害用発電機を準備している。今後も他市の取り組みなどを参考に対策を徹底していく。③さまざまな情報発信ツールの特徴を効果的に活用するとともに、積極的に分かりやすい情報発信に努める。

その他の質問

環境問題。

三郷駅南口開発問題

議員 三郷駅南口周辺は、ウォシテイの解体工事も始まり、跡地は民間の大きな開発案件が予定されるなど、ポテンシャルに期待が寄せられる。1989年、当時の木津三郎市長が発表したファイブ・ハート・タウン構想では、三郷駅周辺は「地域拠点」として、コンセプトは「商業機能と業務機能の一層の充実を図りつつ、本市の玄関(顔)にふさわし

い落ち着いたアメニティタウン(快適な環境市街地)をめざす」と謳われていた。この構想は第5次三郷市総合計画にも受け継がれ、30数年継続されている。市制50周年の記念事業に組み入れるなど、構想の早期実現を要望するとともに具体的な計画等、三郷駅南口周辺の復興、再浮上の構想を市長に伺う。

市長

第5次三郷市総合計画の将来都市構造図の中でも、三郷駅周辺を「地域拠点」、三郷緊急用船着場周辺の江戸川河川敷を「レクリエーション核」として位置づけている。今後も地元地権者の意見を踏まえ、三郷駅周辺のロータリーやバス停留所の再配置のための調査を行うなど、地域活性化のための拠点づくりを進めていく。

その他の質問

安心安全問題など。



三郷駅南口周辺

交通安全対策について



通学路に設置された
車止めポール

議員

通学路にある危険から子どもをどう守るかについて改めて関心が集まっている。三郷市でもゾーン30による速度規制の実施や、スクールガードの協力のもと児童生徒の安全対策が取られている。しかし、交差点にガードレールやポールが設置されていない箇所もあり、信号待ちの歩行者にとって危険だとの声もある。通学路及び交差点の安全について、これまでの取り組みと今後の対策は。

市民経済部長

千葉県八街市の事故を受け、市としても通学路の安全点検を行っている。これまでも、ゾーン30を市内8か所で実施し、登下校時には交通指導員等による児童の交通事故防止に努めているが、

今後も関係機関との連携、協議などを踏まえ、交通安全施設の設置など、安心・安全な通学路の確保に向けた対策を講じていく。

建設部長

交差点の安全については、信号機のある交差点を中心に、車両の進入を防止するため、鉄製の車止めポールを約640本設置した。今後も、市道における危険箇所について、関係部署と連携しながら車止めポールやガードレールの設置などの安全対策を実施していく。

その他の質問

市内バス交通問題。

65歳未満の重度障がい者 福祉サービス

議員

65歳未満だと重度の障がいを抱えていても特定疾患に起因していないなどの理由から、介護保険制度によるサービスを利用できない人がいる。障がいがあっても、当たり前前に住み慣れた地域で暮らし続けるために障がい者福祉サービスは必要不可欠である。加えて、家族のこと、仕事のこと、経済的なこと等、一人の人間にまつわる課題は複雑で多岐に渡るが、利用者にとって相談窓口はひとつが望ましい。初期段階のインタビュー(受入れ)では

隠れたニーズも拾い上げる視点を持つことが重要である。三郷市におけるワンストップの相談支援、インタビューやアセスメント(事前評価)の過程について伺う。

福祉部長

相談者が抱える生活に關する困りごとは、ふくし総合相談室でまずお受けする体制としている。初回相談・インタビューの際に、現在同居されているご家族の状況や、健康状態、稼働状況や、社会保障の活用などを十分に聞き取り、困窮者支援や生活保護制度の活用が必要と判断した場合は、制度やサービスとの提供について十分な説明を行い、理解を得られるようにしている。今後もアウトリーチを念頭に置き、「つながる相談支援」に努める。

带状疱疹ワクチンの 助成について

議員

コロナ禍の生活環境の変化で体力が衰え、疲れやストレスがたまる状況が続く今、带状疱疹を発症するかが増えている。带状疱疹は、子どもの頃かかった水痘(水ぼうそう)ウイルスが体内で潜伏し、免疫力低下時などに発症する。成人の9割がこのウイルスを体内に持



ち、50代以降に発症しやすく、80歳までに3人に1人がかかると言われている。その約2割のかたに後遺症が残る可能性があるが、带状疱疹はワクチン接種で予防できる。高額のワクチンであるため、費用の助成について伺う。

スポーツ健康部長

平成28年、既存の水痘ワクチンが従来の効果に加え、50歳以上のかたに対する带状疱疹の予防効果についても追加承認された。また、平成30年には新たなワクチンが製造販売承認を取得しており、ワクチン接種についての選択肢が増えている。任意接種のため、現段階においては助成制度を含め積極的な接種勧奨は行っていないが、带状疱疹ワクチンの助成については、国の動向を注視するとともに、先進事例などを情報収集し、調査研究していく。

その他の質問

道路問題。

平和への願い発信を

議員

核兵器禁止条約が発効してから8か月を迎えた。また、今年9・11同時多発テロ事件から20年だ。対テロ戦争のもと、多くの罪のない一般人が犠牲となり、憎しみの連鎖は深まっている。戦争は、個人の尊厳や人権を簡単に奪う。だからこそ、平和が大事だと強く感じている。①戦争・原爆の記憶が風化する中で、戦争の悲惨さ、平和への思いの伝承が今後強く求められる。戦争・原爆体験者は高齢化しており、聞き取りには時間がない。戦後も貧困、差別、後遺症など、苦しい思いを強いられてきた。あらためて聞き取りを行うべきだ。②(仮称)多世代交流複合施設への非核平和宣言塔の復元を。③条約への参加を国へ求め



戦争原爆パネル展
(ららほっと新三郷)

てほしいが、市長の見解は。

総務部長

①市民から募集した「戦争体験記」は、発行から30年を迎え再度の聞き取りは難しい状況である。今後多くの皆様にお読みいただけるよう事業の継続に努めていく。②宣言塔の建設予定はないが、デジタルサイネージ等により広く趣旨を周知・啓発していく。

市長

③政府は、「立場の異なる国々の橋渡しに努めつつ、現実的かつ、実践的な取り組みを積み重ねている」としていることから、国の動向を注視していく。

その他の質問

認知症予防など。

コロナ対策として

医療従事者等へ支援を

議員

市が実施した緊急支援金は、医療機関には届いても医療従事者個人には十分に行き届いていない。今後、医療現場では、第6波への対策やインフルエンザの対応もある。「病院看護師の中心的役割を担っているのは、小中学生のママナース達。学校が始まってクラスターが起きたら、その母たちは出勤できなくなり医療が回らなくなります。絶対に院内にコロナを持ち込まないよ

うに、日々懸命に気をつけている。理不尽なクレームを受けても、それでも患者さんを守るという使命感で1年半以上、耐えている状況です。」これが、現場の声である。今、最前線で私たち市民の生命を守り、救うために闘っている医療機関等に従事されている一人ひとりに届く支援として、例えば慰労金や飲食補助クーポン券の配布などが必要ではないか。

企画政策部長

市内の医療機関及び医療従事者の皆様には、ワクチン接種など、新型コロナウイルス感染症収束に向けた取り組みに全面的にご協力いただいている。今後、医療従事者の方々に市として何ができるのか、ご提案の件も含め引き続き検討していく。

その他の質問

環境問題。

マンションの老朽化対策

議員

高経年マンションでは、区分所有者の高齢化、非居住化が進み、賃貸・空き住戸化している。また、管理組合の役員の手が不足し、総会の運営が困難になり、大規模修繕や建替え決議ができない、必要な修

繕積立金を確保できない等の課題を抱えている。また、タワーマンションに象徴されるマンションの大規模化や設備の高度化、複合用途化等に伴い、管理の専門化・複雑化が進む一方、総会への出席率が下がるなど、区分所有者の合意形成の困難さが増大する傾向にある。三郷市においても「マンション・団地の実態調査」や「管理状況に関する届出制度」が必要ではないか。

まちづくり推進部長

市では、昭和56年5月以前に建築された分譲マンション管理組合に対し、耐震診断の働きかけをし、訪問や電話により状況把握に努めている。マンション管理の適正化や、建て替え等の円滑化に関する法律が改正されたことから、本市においても施策が効果的かつ適切なタイミングで実施できるように調査研究をしていく。

その他の質問

医療的ケア児問題など。



適正な管理に
市が支援を

「日本一の読書のまち」
官民連携の充実を



自動車販売店での
子ども司書によるお話し会

議員 「日本一の読書のまち」宣言により、市内外でその活動が注目されるようになってきた。今まで三郷市では、図書館や学校図書室の活用、電子図書館等の整備、ふれあい文庫による各種企業との連携等を実施してきた。しかし、これらの取り組みにとどまらず、今後は出版社や本屋、著者等との官民連携をより一層充実させていくことを考えてはどうか。

生涯学習部長 官民連携の取り組みについては、これまでふれあい文庫を自動車販売店や病院に設置している。また本年3月、三郷中央

におどりプラザで開催した絵本イベントでの業者による書籍販売や、日本一の読書のまち三郷応援団長である柳田邦男先生ご支援のもと、文学講演会等を開催している。今後も、第2次日本一の読書のまち三郷推進計画の施策に基づきながら、官民連携について取り組んでいく。

その他の質問 子育て問題。

多胎妊婦健康診査への
補助と生活支援について

議員 多胎児妊娠の際は、通常より多くの妊婦健康診査受診が推奨され、経済的負担が大きくなる。①安心して出産できる環境づくりのため、追加で受診する費用を補助してはどうか。②核家族社会になり多くの親は子育てを一人で行っている。多胎育児のサポートを考える会のアンケートで、「気持ちが悪さを感じたり、子どもに対してネガティブな感情を持ったことがあったか」の質問に、多くが「ある」と答え、家事・育児の人手を切望している。生活へのサポートは急務であると考え、ヘルパー派遣などの支援について伺う。

子ども未来部長 ①国では今年度

から、追加の妊婦健診について1回あたり5000円、5回を限度に助成する「多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業」を創設している。実施にあたっては、近隣自治体等の動向も注視しながら検討していく。

スポーツ健康部長 市では、多胎児等の生活支援の一環として助産師、保健師、ホームヘルパー等の専門職による継続的な訪問支援を実施している。育児の不安を解消し、安定した乳幼児の養育につながるよう支援していきたい。

その他の質問 健康問題。

新型コロナウイルス
ワクチン接種について

議員 ①自宅療養者の健康観察のみならず、重症化リスクを早期に発見し、必要な医療を保障するために、必要な医療を保障するためには開業医等、地区医師会や地域の医療機関との連携が不可欠である。すでに、訪問診療チームの取り組みが徐々に進められてきているが、ワクチン接種においても移動困難な方への支援が必要不可欠である。アウトリーチによる支援も含めて、引き続き安定的・計画的なワクチン接種に努めてほしいが、対応は。②ア



ワクチン集団接種の様子

ストラゼネカやモデルナ社製ワクチンについて、今後どのように使われていくのか。

スポーツ健康部長 ①現在、接種対象を12歳以上のすべてのかたに広げ、市内医療機関及び勤労者体育館で接種している。接種会場への移動が困難なかたに対しては、医療機関の協力を得て訪問接種を実施している。今後も引き続き医師会や地域の医療機関と連携し、接種体制の整備に努めていく。②モデルナ社製ワクチンの使用については、ファイザー社製と同様に、異物混入などについての確認を実施していく。アストラゼネカ社製ワクチンは市内個別医療機関で接種しており、専用の問診票や、チラシを用いて副反応についての注意喚起を行っている。

その他の質問 福祉問題。

要支援者の個別計画の推進 と福祉避難所の拡充を

議員

今年5月に災害対策基本法の一部を改正する法律が施行され、避難行動要支援者支援事業(個別計画の作成など)の推進が求められている。個別計画の作成は、日常的に関係性のある福祉専門職のかたなどに支援してもらうことが必要ではないか。また福祉避難所を増設し、要支援者が直接避難できるような個別計画を作成してはどうか。

福祉部長 減災に向け福祉職の活用など、さらに具体的な取り組み方について担当部局と連携協力しながら調査研究していく。

議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお9月定例会の会議録は11月下旬に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を目安に、ホームページにてPDF形式で公開していますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

三郷市議会 会議録

検索

危機管理監

福祉避難所は、一般的に平時時は入所・通所施設として運営されており、災害時には施設の安全確保、職員の配置などを確認したうえで一部のスペース等を利用した開設を想定し、避難所としては二次的なものと現在位置づけている。また、直接の避難先とすることで、受け入れ想定外の避難者が多くなり、福祉避難所としての対応に支障が生じる懸念がある。このたび、災害対策基本法等の改正により、福祉避難所の受入対象者を事前に特定し、公示をする制度が創設されたため、今後の検討課題としていきたい。

その他の質問 子育て支援など。

戸ヶ崎地区の 公共交通について考えは

議員

平成29年12月の議会では、「戸ヶ崎地区はかつての路線バス廃止の経緯等から、必ずしも日常生活の移動手段としての利用要望が高いとは言いがたく、今回策定している三郷市地域交通網計画では路線バスの新設等については触れていない」という答弁であった。当時から4年ほど経過したが、今後戸ヶ崎

に住む市民の公共交通についての考えを求める。

まちづくり推進部長

平成30年3

月策定の三郷市地域公共交通網形成計画では、路線バスに対する改善の必要性が高い地区として、戸ヶ崎地区を挙げており、対応しなければならぬ地区としている。過去に行った市民アンケートなどの結果では、路線バスに対する改善ニーズが高いものの、利用者が少ないため廃止となっており、再編は慎重に判断する必要がある。今後はこれまでの経緯を踏まえ、戸ヶ崎地区の最適な公共交通のあり方を模索する第一歩として、現状の課題を確認するための利用意向調査を実施する。バス路線の再編成も含め、先進事例を参考に地域公共交通活性化協議会の中で検討を進めていく。



戸ヶ崎1丁目付近

人事案件

○教育委員会委員の任命に同意しました。

山本 隆弘氏(泉一丁目)

○監査委員の選任に同意しました。

坪井 裕子氏(早稲田六丁目)

○公平委員会委員の選任に同意しました。

小阪 秀史氏(谷口)

○人権擁護委員を適任としました。

石井 秀誉氏(彦倉一丁目)

中村 三郎氏(早稲田一丁目)

○選挙管理委員及び補充員を指名推選により当選としました。

(選挙管理委員)

石出 順一氏(鷹野五丁目)

篠田 實氏(番匠免一丁目)

澁谷 貞子氏(花和田)

篠田 喜一氏(新和四丁目)

(補充員)

豊田 孝司氏(三郷一丁目)

田中はつ枝氏(谷口)

阿部 啓子氏(谷中)

八塚 誠治氏(戸ヶ崎二丁目)

4つの特別委員会を設置しました

◎委員長 ○副委員長 ※(議長)は、地方自治法第105条によるものです。

三郷インターチェンジ周辺 対策特別委員会

三郷インターチェンジ周辺の開発に伴い生ずる諸問題の対応を図る。



彦糸二丁目付近

◎加藤 英泉 ○田上 広子 宇治由紀子
 篠田 隆彦 寺沢 美紗 柳瀬 勝彦
 鈴木深太郎 佐藤 睦郎 西村寿美枝
 工藤智加子 深川 智加 市川 文雄
 ※(議長)

三郷早稲田北部地域 拠点整備対策特別委員会

三郷早稲田北部地域の拠点整備に伴い生ずる諸問題の対応を図る。



(仮称) 三郷流山橋西側

◎鈴木深太郎 ○渡邊 雅人 武居 弘治
 田上 広子 宇治由紀子 寺沢 美紗
 岡庭 明 柳瀬 勝彦 西村寿美枝
 工藤智加子 深川 智加 一色 雄生

三郷中央地区周辺 対策特別委員会

三郷中央地区とその周辺における開発に伴い生ずる諸問題の対応を図る。



におどり公園

◎菊名 裕 ○鳴海 和美 篠田 正巳
 武居 弘治 佐藤 裕之 佐々木 修
 齊藤 幹郎 加藤 英泉 渡邊 雅人
 酒巻 宗一 佐藤 睦郎 佐藤 智仁

三郷南部地域拠点 整備対策特別委員会

三郷南部地域拠点の整備に伴い生ずる諸問題の対応を図る。



消防署南分署付近

◎酒巻 宗一 ○佐々木 修 篠田 正巳
 佐藤 裕之 篠田 隆彦 齊藤 幹郎
 岡庭 明 菊名 裕 鳴海 和美
 佐藤 智仁 市川 文雄 一色 雄生
 ※(議長)

議会を傍聴しませんか

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳、または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前に議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎048(930)7768



手話通訳と要約筆記により傍聴する様子

..... 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴をされるかたは、入場時に手指消毒及びマスクの着用をお願いいたします。また、体調のすぐれないかた(せき・発熱など)は、傍聴をお控えください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

..... 傍聴 Q&A

Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。通常は午前10時から会議が開かれますので、7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース(3席)があります。

令和3年12月定例会の予定表

月日	曜日	会議別
11/29	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
12/1	水	
12/2	木	委員会
12/7	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
12/8	水	
12/9	木	
12/10	金	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の12月定例会は11月29日(月)午前10時に開会予定です。

9月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権

号	件名	結果	政志会	21世紀	公明党	共産党	ネットワーク	無所属
47	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
48	三郷市個人情報保護条例及び三郷市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	○	○
49	三郷市職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
50	三郷市児童発達支援センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
51	三郷市地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
52	令和3年度三郷市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○
53	令和3年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
54	令和3年度三郷市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
55	令和3年度三郷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
56	令和3年度三郷市上水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
57	令和2年度三郷市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	○
58	令和2年度三郷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
59	令和2年度三郷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○ ⁴ × ¹	○	×	○	○
60	令和2年度三郷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
61	令和2年度三郷市上水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定	○	○	○	○	○	○
62	令和2年度三郷市公共下水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○
63	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	△	○	○
64	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
65	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
66	令和3年度三郷市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○
議員提出	67 出産育児一時金の増額を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
	68 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○
	2 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○

※このほか報告23件、選挙1件がありました。また、陳情2件、要望1件を受理しました。

会派名（人数）	所属議員名
政志会（9）	武居 弘治（議長）、篠田 正巳、佐藤 裕之、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ（5）	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人
公明党（5）	酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 陸郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党（3）	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい（1）	市川 文雄
無所属（1）	一色 雄生



※議長は採決に加わっていません。

国・政府に要望

9月定例会では2件の意見書を提出しました。

議案第67号 出産育児一時金の増額を求める意見書

厚生労働省によると2019

9年度の出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円、室料差額等を含む費用の全国平均額は約52万4000円となっている。出産にかかる費用は年々増加し、費用が高い都市部では現在の42万円の出産育児一時金の支給額では賄えない状況になっており、平均額が約62万円と最も高い東京都では、現状、出産する人が約20万円を持ち出している計算となる。

国は、2022年1月以降の分娩から産科医療補償制度掛金を1.2万円に引下げ、本人の受取額を4000円増やすとともに、医療機関から費用の詳しいデータを収集し実態を把握したうえで増額に

向けて検討することとしている。

一方、令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

少子化対策は、わが国の重要課題の一つにほかならず、子育てのスタート期に当たる出産時の経済的な支援策を強化することは欠かせない。

よって、政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることが強く求める。

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などを行うことです。



議案第68号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

(要望事項)

1. 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、



議場で避難訓練を実施

9月15日、本会議中の大地震を想定し、避難行動訓練を実施しました。また、9月定例会後には、議員の「安否確認訓練」も実施し、災害に対する備えを確認しました。

他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。

2. 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。

生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。

3. 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。

4. 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5. 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

※67号・68号ともに一部抜粋。



父の背中

医療事務 40代 三郷三丁目在住

先日、一人暮らしの父から「背中に薬を塗りたいのだけどうまく塗れない」と言われました。父の家まで自転車で10分の距離ですが、背中に薬を塗るためだけに自転車を走らせるのは面倒です。何か良いモノはないかとネットで検索し「らくらく軟膏塗り！」便利グッズを見つけました。

早速ポチッと父に届けました。私が知らないだけかもしれませんが、こんな便利グッズが近くのお店で手に取って見れたら良いのと思いました。

インターネットは、とても便利ですが、苦手な高齢者にも快適な三郷であってほしいと願います。

優しい三郷に守られて

年金受給 60代 さつき平一丁目在住

三郷に住んで30数年。このまちで子育て・仕事をし、多くの方々にお世話になってきた。

久々にみさと団地へ。保育所は既になく商店街にも変化が。聞くと、北公民館・児童館の建て替えに伴い多世代交流館（仮称）として再出発するという。

初めて公民館に行ったとき、門近くの「非核平和宣言塔」を見て、優しい三郷だと、何かしら安心感に似た感情を抱いた。慣れない土地でこれからの生活に不安を持っていたこともあったのだろう。

それからは保育所と職場の行き帰りに見上げ、守られている感じがした。新しい交流館の前庭にも、どこからでも見ることができる宣言塔を期待している。



議	委	委員	副委員	委員
長	員	長	長	員
武	寺	渡	西村	深
居	沢	邊	寿美	川
弘	美	雅	枝	智
治	紗	人		加



編集委員会新メンバーをご紹介します

見やすく、わかりやすい紙面で、市議会だよりが身近なものになるよう、編集委員一同努めてまいります。

